

自治会だより

【発行】
牧野林中央自治会
【編集】
総務部

第1回〜第3回「地域ビジョン策定ワークショップ」開催

滝沢市自治会連合会主催の「地域ビジョン策定ワークショップ」が、9月19日、10月17日、11月14日の3回に渡り、せいほく集会所で開催され、自治会役員など、延べ30名余りが参加しました。

これは滝沢市自治会連合会の「自治会のあり方検討部会」において、自治会が抱える課題を解消し、住みよい環境づくり及び安心・安全な地域を維持し、市民主体の地域づくりを推進する取り組みの一つであり、今年度は当自治体を含め、市内の3つの自治会をモデルとしてワークショップが行われました。



ワークショップは「特定非営利活動法人いわたNPOフォーラム」のスタッフの進行で行われました。参加者を3つのグループに分け、グループワーク方式で、自分の住む地域の課題などを話し合い、5年後・10年後にどのように在りたいか、またその達成のためにはどのような取り組みができるかなどについて、約2時間に渡り白熱した議論が行われました。話し合われた内容の一部として、「地域住民への情報提供と意見の収集ためのSNSを活用する」「若い世代の自治会活動参加を促すために「青年部」を創設する」「様々な世代が交流できるイベントの開催や集会所の活用」等が挙げられており、今後はこのようにしてこれらを具体化していくか検討を深めていきます。

生活環境部

計画していた部会も思うように開かれない中、「コロナ感染も落ち着きをみせた7月半ばはお盆前に草取りを中心とした地域清掃を、8月8日実施で計画しました。

しかし実施日近くになり滝沢の感染者が急増し、前日に中止を決定、地域の皆様には当日の朝に部員が手分けして、朝にお集まり頂いた方にお帰り頂くという事態になり、大変ご迷惑をおかけしました。

秋も深まり公園の花も枯れ、乱れてしまい部員総出でせいほく北、西の3公園とトライアル、ローソンの通りの花の片付け草取りを10月31日朝六時から実施しました。

自治会長ほか4名の有志のお手伝いもあっさりい片付けました。

当初の計画では全員で集積所巡回を行うことになりましたが、個々で回り状況を連絡、共有する形になりました。

巡回はみえない、使用者目線の困りごとを記入したたぐり用紙を設置し巡回、回収後改善をお願いします。

曜日を守らなくてはならず、臭いが気になる、収集されない違法ゴミの回収等、部員早急に対処するよう、市の環境課にお願いや等洗い出すようになっています。

皆様が気持ちよく生活できるよう部として邁進していきます。



福祉文化部

8月1日(日)せいほく集会所に於いて今年度の恒例『夢灯り』を福祉文化部主催にて開催しました。

作品は事前に湊副会長婦人御指導の下、部員、いきいきサロン牧野林、せいほく地区子ども会々団体の方々が作製されており、本来であればせいほく中央公園に大々的かつ華やかに展示の予定でしたがあいにくの雨予想にて急遽、集会所開催となり万全なコロナ対策を講じた上の展示になりました。

開会セレモニー観覧注意点のお願い後入場開始約一時間半の開催でしたが多くの方々が来所され盛会裏にて終了致しました。ご協力、また来所された方々ありがとうございました。次年度も開催を予定をしたいと思いますので是非ご参加ください。



防犯交通安全部

「子ども110番の家」(緊急避難所)新たに18カ所指定へ
 当市の地域犯罪状況・交通事故ですが、ご存知と思いますが非常に残念ながら死亡事故が発生してしまいました。また脅威事犯は当地域の近辺では若干増加傾向であり、子どもたちの安全確保が高まっています。

そこで子どもたちの安全・安心を強化するために、盛岡西警察署生活安全課の方々の指導をいただき「子ども110番の家」の募集活動し、新たに18カ所の事業所・個人宅が指定されました。

指定書交付式は10月20日(土)交流館(熊谷一見館長で行われ、盛岡西地区防犯協会連合会長の佐藤栄一会長より「子ども110番の家」18カ所の代表として熊谷館長に手渡し「事案の発生を防止するのは地域住民を務め。安心安全な街づくりを」と述べる。(促した。)

当地域内には「子ども110番の家」は、力所のみで、子どもを犯罪や交通事故から守る力を高めようと働きかけ、同交流館や幼稚園、病院、スーパー、個人宅などが新設されることになりました。

つきましては子どもたちや高齢者の方々が「安心で安全な街づくり」に取り組んで参りたいと思っております。

若手県で一番「安心で安全な街」になるようにぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

